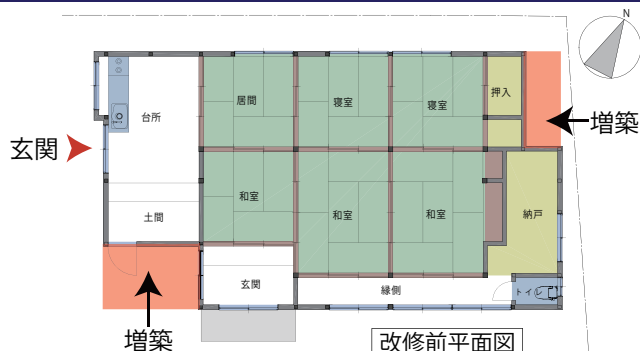


リフォーム前



新居を構えるに当たり、空き家となっていた築58年の祖父母の家をリフォームして生活することを決めた5人家族の依頼主夫婦。解体して新築するのではなくリフォームを選んだのは工事費を抑えるためだけではなく、先祖の残してくれた家を大切に引き継ぎたいという想いから。そんな依頼主の想いや要望に応えるべく5人家族のライフスタイルに合わせた間取りの変更と増築を伴う大胆なリノベーション計画を提案しました。

空き家になってから数年しか経っておらず、構造材の劣化や雨漏りやシロアリの被害もなく、木材の状態はよかったので柱・梁などの構造材はそのまま残せた。しかし、コンクリート基礎造りではなかったため、柱の沈み、傾きなどの変形を調整する作業が最も時間を要した工事となった。



リフォーム後



増築をしたことで建物形状が整形化できたので、もともと入母屋造りだった屋根形状をシンプルな切妻造りの外観とした。

南側にあった玄関は、新設するカーポートに近い西側に配置し、通り抜けのできるシューズクローゼットを玄関に設けた。

陽当たりの良い縁側と二間続きの和室の位置に約22畳のLDKを配置して、客室としても使える四畳半の和室を隣接させた。

リビング・ダイニングを勾配天井とすることで、空間を広く見せるだけでなく、既存の柱や梁、小屋束などの構造材が現しになることで、伝統的な古民家造りの良さや骨太木材の構造美を楽しめる空間とした。先祖から引き継いだ家に新しい家族5人が集まりそして心と心がつながる家が完成した。



応募者・施工者	設計者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
有限会社 幸福住建	幸福住建 一級建築士事務所 福永 知哉	58年	木造	一戸建て	令和3年12月	180日間	2,300万	指宿市	増築・内外リフォーム